

建設経済常任委員会

日程:令和元年10月2日(水)～10月4日(金)

●DIY型空き家リノベーション事業について(岐阜県各務原市)

家を手放さず活用したい所有者と家を購入しないでDIY(日曜大工)で自分の思うとおりに改装したい借主がマッチングして契約を交わし、市・民間・大学・金融機関の四位一体でサポートする画期的な事業の視察を行いました。



各務原市

●公民館連携による移動販売事業について(愛知県春日井市)

市・観光コンベンション協会・地元スーパーの三者連携により、2015年4月から移動スーパーマーケット「道風くん」事業をスタート。

300種類の商品を積み込み、買い物弱者の方々を対象に6地区を週2回巡回して、行く先々で高齢者を中心としたコミュニケーションの場となっている先進地の移動販売の視察を行いました。

●やきものの散歩道地区景観計画について(愛知県常滑市)

平安時代末期から水道事業に土管を活用し、日本全土の受注で発展した常滑市は、日本六古窯の一つとして2017年日本遺産に認定され、窯業で栄えた町並がそのまま残っており、現在、やきものの散歩道地区景観計画を策定し景観保全に努力されている。

庁舎での学習を終え、やきものの町並み現場の視察をさせていただきました。

総務文教常任委員会

日程:令和元年10月16日(水)

●学校施設整備について(福岡市立住吉小・中学校)

統合前の2小学校、1中学校では小規模校化や老朽化など様々な課題を持っていましたが、施設一体型の連携校とすることで同時解決を図ると共に、教員間の情報共有や指導の充実など新たな教育的効果を生み出すことに成功しています。



福岡市立住吉小・中学校の地下プール

●自校方式の中学校給食について(糸島市立志摩中学校)

糸島市では、方式は異なるが全ての小中学校で完全給食を実施する中、第一次産業が盛んな地域特性を食育に活かすなど独自の取り組みと導入経緯について研修を行いました。志摩中学校のランチルーム制は残食率の低減などに大きな効果を発揮しています。

環境厚生常任委員会

日程:令和元年11月13日(水)～11月14日(木)

●丸亀げんきっ子夢プランについて(香川県丸亀市)

丸亀市では、市全体が共通の視点を持って子どもたちに関わるように「丸亀げんきっ子夢プラン」を策定しています(平成26年3月)。

各施設の特徴を保ちながら、幼稚園・保育園の相互研修が進むなど成果も上がっていました。

今後は小学校へのアプローチカリキュラムの作成にも取り組もうとしています。



三豊市(可燃ごみが固形燃料になります)

●環境に優しいゴミ処理方式(資源化)について(香川県三豊市)

三豊市では、「ゴミを資源として循環させる」ため、コンポスト方式でゴミを再資源化し、近在の工場で石炭代わりの燃料としています。民間企業への委託ですが、市の補助はありません。

市のごみ収集方法、地域の経済状況も踏まえた制度設計で、市民にも無理なく受け入れられています。

◇編集後記◇

初めて迎える令和の春となりました。私たち太宰府市民にとって、今年の梅の花はひときわ美しく、薫り高く思えるのではないのでしょうか。

私ども議会広報特別委員会も、任期4年間の折り返し点を迎えました。この2年間は、多くの皆様に読んでいただけたら、何より分かりやすい紙面作りに努めてまいりましたが、まだまだ改善すべき部分がございます。これからの後半も、さらなる紙面の充実に向けて努力してまいります。

さて、これからは三寒四温を繰り返しながら、次第に春めいてくる良い季節です。早春の梅の便りに誘われて、市内各所の梅園を訪ねてみるのはいかがでしょう。古の「梅花の宴」の雰囲気を、感じる事ができるかもしれませんよ。

議会広報特別委員会

委員	委員	委員	委員	委員	委員長	委員長
柳原	笠利	入江	橋本	藤井	木村	原田
莊一	利毅	江寿	本健	井之	村人	久美子

(彰)